



学会ホームページ <http://jasce.jp>

038号(2017年5月27日)

目次

全国大会開催のご挨拶
全国大会会場のご案内
大会日程
大会参加・研究発表申込
『協同と教育』への投稿募集中
学会ワークショップ 今後の予定
各地の研究会・勉強会
出版情報

全国大会開催のご挨拶

日本協同教育学会第14回大会を岡山大学で開催します。会期は10月27日(金)～29日(日)です。10月27日(金・午後)は「プレ大会」として、岡山県立倉敷青陵高等学校の公開授業研究会に参加できることになりました。土家校長先生をはじめ、同校の先生方には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

28日(土)・29日(日)は会場を岡山大学教育学部に移して「本大会」を開催します。本学は平成26年度より文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援(Top Global University Project)」に採択され、グローバル実践人の輩出を目指したPRIMEプログラムやグローバル実践型教育科目の設定等、様々な教育改革に取り組んでいます。平成28年度からは全国にも例のない「60分授業・クォーター制」を導入し、大学授業の方法・内容の実質的な改善に取り組んでいます。ここではアクティブ・ラーニング型授業への転換や、講義内容の体系的構造化、学生の自律的な学修の強化・

充実のための方法論の開発を進めています。また、平成30年度にはPBL(Project-Based Learning)を軸とする教育学研究科の改組を予定しています。このようななか、本学で日本協同教育学会を開催できますことは、誠に時宜を得たものであります。

本大会の初日(10月28日(土))の午後には、教育評価論の第一人者である京都大学の西岡加名恵先生をお迎えし、記念講演を開催します。

また、本学教育学部講義棟は、昨年度末に改修工事を終えたばかりです。清新かつ充実した環境にて皆様をお迎えできますことを、とても喜んでおります。この3日間が良き大会になりますよう、大会準備委員会一同、微力を尽くして参ります。なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

大会の概要を以下のアドレスに掲載しています。

<https://jasce.jp/conf1401.php>
会員各位のご参加とご発表をお待ちします。

日本協同教育学会第14回大会実行委員会

委員長: 青木多寿子

全国大会会場のご案内

▶ プレ大会 10月27日(金) 午後
会場: 岡山県立倉敷青陵高等学校
〒710-0043

岡山県倉敷市羽島 1046-2

* 通常授業期間につき、駐車場の準備がございません。公共交通機関等をご利用ください。

● JR山陽本線「倉敷駅」南口から徒歩15分

● 下電バス茶屋町駅行き、天城小川

經由児島行き「青陵高等学校前」下車徒歩1分

▶ 本大会: 10月28日(土)～29日(日)
会場: 岡山大学教育学部
〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中3-1-1

* 岡山大学教育学部までのアクセスは、本学HPアクセスマップの「津島キャンパス」をご覧ください。
http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html

大会日程

- ▶ 10月27日(金) 午後
公開授業研究会
(岡山県立倉敷青陵高等学校)
- ▶ 10月28日(土)
大会1日目・情報交換会
- ▶ 10月29日(日) 大会2日目

大会参加・研究発表申込

次ページを参照ください。

『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿は随時受け付けています。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常、数ヶ月を要します。学会機関誌『協同と教育』第13号(2017年発行)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。



大会参加・研究発表申込

1. 発表形式

- 口頭発表(研究発表と実践報告の2タイプ、発表20分質疑10分)
- ラウンドテーブル(120分。ただし、90分・180分も相談の上、設定可能)
- ワークショップ(120分。ただし、90分・180分も相談の上、設定可能)

発表申し込みは大会HPのフォームからお願いします。

https://jasce.jp/php/conf_happyo_form.php

3. 発表要旨集の原稿ファイル

開始日 2016年5月20日(金)
締切日 2016年7月30日(土)

2. 発表等募集期間

開始日 2017年5月1日(月)

締切日 2017年7月10日(月)

*非会員の方で新たに会員となり発表を申し込み場合、6月20日(火)までに入会の手続きが完了していることが条件です。

4. 発表原稿等受付

開始日 2017年7月11日(火)

締切日 2017年8月18日(金)

5. 事前参加申込と参加費入金

受付開始日 2017年7月11日(火)

受付締切日 2017年9月29日(金)

6. 第14回大会に関する問い合わせ先

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学教師教育開発センター

TEL&FAX: 086-251-7752

(教師教育開発部門:高旗)

e-mail: taikai@jasce.jp

学会ワークショップ今後の予定 (判明分)

<ベーシック>

◇6月10日(土)~11日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

名古屋学舎 0604教室

講師:水野正朗

◇7月29日(土)~30日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)

(教職大学院棟V409教室)

講師:大場浩正

◇8月26日(土)~27日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)

D棟

講師:石田裕久・長濱文与

◇12月9日(土)~10日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

名古屋学舎 0604教室

講師:水谷 茂

<アドバンス>

◇7月29日(土)~30日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)

教職大学院棟V309教室

講師:久保田秀明

◇11月11日(土)~12日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)

D棟

講師:石田裕久・関田一彦

◇12月9日(土)~10日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

名古屋学舎 0605教室

講師:未定

<一日研修>

◇11月26日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

名古屋学舎 0604教室

講師:水谷 茂

※定員になり次第、受付を終了します。お申込み方法、ならびにワークショップの詳細は下記 URL をご覧ください。

(<https://jasce.jp/1031workshop.php>)

JASCE

各地の研究会・勉強会

(北海道地域)

北海道アクティブ・ラーニング(協同と創造の授業づくり)研究会

◇夏季研究会のご案内

日時:2017年7月27日(木)13時30分~28日(金)16時

場所:ホテルライフオーツ札幌(札幌市中央区南10条西1丁目)

内容:1日目は小学校・中学校分科会、高校・大学分科会の二つに分かれて、実践報告を行った後、本会会長の鹿内信善による講評があります。2日目午前は、本会顧問の石垣則昭による講演「主体的・対話的で深い学びによる授業づくり」、午後は関田一彦先生による特別講演「主体的・対話的で深い学びを創る協同学習」が行われます。

詳細については、本会ホームページ <http://www.al.mnw.jp/> をご覧ください。お申込みもそちらからお願いいたします。この時期、北海道は大変良い季節を迎えます。北海道在住の方のみならず、遠来のご参加もお待ちしております。

連絡先:大和田秀一(酪農学園大学 owada@rakuno.ac.jp、TEL 011-388-4777)

(東北地域)

宮城「協同学習を学ぶ会」

◇第2回勉強会のご案内

第2回勉強会を、6月24日(土)13時~16時(受付12時30分~)、TKP仙台東口ビジネスセンター・カンファレンスルーム2Bで開催します。テーマは「『主体的・対話的で深い学び』実現への提言:アクティブ・ラーニング(協同学習)の視点から」。講師に渡辺正雄先生(日本協同教育学会前理事)をお招きします。私たちは、いつも児童・生徒たちが「もっと学びたい授業」を目指しています。参加費1,500

円。定員は80名(申込み順)です。6月9日までにFAXまたはメールでお申し込みください。

申込先:熊谷みち(白石市立南中学校 kumagai-173@shiroishi-c.ed.jp
FAX 0224-28-2016)

(東京・関東地域)

協同教育カフェ in 八王子

◇協同教育カフェは、7月16日(日)13時半~17時(13時開場・受付開始)、創価大学教育学部棟3階 B303教室で開催します。終了後の懇親会も予定しています。

連絡先:関田一彦(創価大学 sekita@soka.ac.jp)

(名古屋・東海地域)

Learning Design Community(静岡県)

◇第10回勉強会のお知らせ

静岡大学情報学部の狩野芳伸先生の御講演を実施します。LDC初の浜松開催です。

日時:6月30日 18時から(17時30分開門)

場所:浜松市科学館会議室

参加費:会場代・資料代として1,000円

内容:18:00スタート。参加者による簡単な自己紹介・名刺交換等。講演80分程度。

①「対話分析の最先端」②「未来予測」③「A.I.時代の教師の役割」、質疑応答。終了後、浜松駅周辺で情報交換会を予定しています。お申込みは以下の「こくちーず」からお願いします。(http://kokucheese.com/event/index/469888/)

◇次回の予定

静岡大学教職大学院大学にお勤めでした益川弘如先生(現在は聖心女子大学文学部教育学科教授)をお

訪ねします。8月21日(月)10:00より実施の予定です。

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇4月例会の報告

4月例会を4月25日19時から開催しました。テーマは「対話による深い学びの実現とその形成的評価の方法」。テーマは「対話による深い学びの実現とその形成的評価の方法」です。水野正朗(東海学園大学)、副島孝(愛知文教大学)、坂本篤史(福島大学)の共同研究「対話による知識の共同構築過程の形成的評価に関する実証的研究」が3年目を迎えました。さまざまな角度から「深い学び」の成立要因を探るなかで、形成的評価(教師と学習者がともに授業過程の改善につとめること)の大切さと可能性の大きさが一層明らかになってきましたので、その報告を行いました。他府県からの参加も多く、「深い学び」の本質(構成要因)は何か、「深さ」に教科の特性がどう絡むかなど、まさに深いレベルで熱心な討議が行われました。

連絡先:水野正朗(東海学園大学 mizunokita@yahoo.co.jp)



(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇5月26日研究会の報告

5月の研究会は、東京・愛知・大阪から7名の初参加の方を迎え31名で開催しました。日星高等学校看護科5年課程の丸山真由子先生が、高校2年生を対象にした「与薬技術演習の

JASCE

まとめにジグソー2を用いた授業実践」について報告されました。手作りの視聴覚教材を視聴させる際の留意点、小グループでの話し合い時の教師の関わり方や学生たちが学習目標に到達できるための協同学習による授業の構造化などについて、活発な意見交換ができました。今秋の岡山大学での第14回大会に向け、大阪の研究会から一人でも多くの方が授業実践の成果を発表できるよう、互いに切磋琢磨して準備していきたいと思えます。

◇今後の開催予定

場所: グランフロント大阪北館2階 ナレッジキャピタル The Lab アクティブスタジオ

時間: 19時～21時、今後の日程: 7月28日、9月29日、11月24日、2018年1月26日、3月23日

参加申し込み先 緒方巧(梅花女子大学 t-ogata@baika.ac.jp)



(岡山・中国方面) 協同学習研究会

◇今後の開催予定

平成29年度の開催日程は、第1回: 7月15日、第2回: 9月2日、第3回: 12月2日、第4回: 平成30年3月3日、いずれも土曜日の午後2時～5時30分、岡山大学教師教育開発センター東山ランチで開催します。第1回は岡山県立烏城高等学校の居上真也先生(理科)、第2回は米子市立東山中学校の中村祐介先生(数学)、第3回は倉敷市立味野中学校教頭の赤崎哲也先生(授業改革推進リー

ダー)にご発表頂くことになっていきます。第3回以降で発表のご希望をお持ちの方は高旗までお知らせください。なお、上記の定例の4回の他、随時「EXTRA」を開催予定です。

連絡先: 高旗浩志(岡山大学教師教育開発センター)

E-Mail: takahata@okayama-u.ac.jp

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇第40回研究会の報告

2016年5月13日(土)午後1時～午後5時、第40回研究会を久留米大学御井キャンパスで開催しました。ご登壇いただいたのはお二人です。

①「絵本セラピーの紹介」をテーマに、基礎絵本セラピストの津留まどか先生。②「地域を対象とした防災・減災

教育:協同の精神を中核に」をテーマに、松下聖子先生(名桜大学、久留米大学・院)。その後、全体交流の時間を設け、協同学習についての疑問や参加者自身の実践について意見交換しました。

◇今後の日程

授業づくり研究会の今後の日程は調整中です。決定し次第、お知らせいたします。なお、次の企画としては7月22日(土)午前10時～午後5時までの予定で「第5回、協同教育フェスタ」を開催します。会場は久留米大学御井キャンパス、ミーティングルーム3です。参加申込みは協同教育研究所「結風」のHPからお願いします(<http://yuikaji.me/wiki.cgi>)。

連絡先: 安永悟

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

出版情報

●学習に何が最も効果的か:メタ分析による学習の可視化 教師編

教育成果につながるとされる教育的技法や教育的要因がこれまで多数取り上げられていますが、実際のところ、影響力が強いのは何なのでしょう。本書は、その書名の通り「学習に何が最も効果的か」を、多数の先行研究を基にしたメタ分析から検討し、その結果に基づく教育的な提案をしています。本書の主要なメッセージである、「汝が及ぼす影響を自覚したまえ」の言葉の通り、教師が自らの振る舞いとその影響力をしっかりと確認する視点をもって教育改善を進めることで、着実な教育活動が展開できると考えられます。ジョン・ハッティ著。訳者代表 原田信之。あいり出版。



●生き生きと学ぶ生徒の姿の追求:協同教育実践資料23

鳥取県中西部で杉江先生(中京大学)が長くかかわってきた4つの中学校の実践と、研修の内容の紹介です。それぞれ、特色のある研修スタイルをもち、積み上げた成果により生き生きとした生徒の学びの姿を実現しています。内容は冊子になっていますが、近くPDFを学会HPにあげ、どなたでもダウンロードできるようにします。杉江修治監修。一粒書房。

